

「M情報デスク」サポート団体
 救う会大阪 NO! 民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の憲法行為を否定する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西の
 情報
 デスク

No. 123
 【発行・編集】
 MASUKI 情報デスク
 増木直美
 大阪府豊中市上新田2-6-25-113
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp



《第20回慰霊祭》(後列左より) 増木、西川、森協議員、和田議員
 中嶋、立石、今村、増木あ (前列左より) 出口、高岡、山本明氏

第十七回全国戦没学徒慰霊祭 十月二十一日 於・淡路島南端大見山若人の広場にて

今年も、十月二十一日午前十一時より、兵庫県淡路島南端、南あわじ市阿万大見山において、第17回全国戦没学徒追悼祭が行なわれます。

先の大戦で我が国の敗色が次第に色濃くなった昭和18年10月21日、神宮外苑競技場で学徒出陣壮行会が行われました。(このとき最前列で見送ったのが若かりし頃の伊藤玲子元鎌倉市議当時、全国で約400万人の学生、生徒が戦

場や軍需工場あるいは農村に動員され、NO万人余の若く尊い命が亡くなりました。勉強しなかったでしょう。卒業しなかったでしょう。無念だったと思います。今日の平和な日本、そして繁栄。それは彼らの尊い命との引き換えであること忘れてはなりません。

今年二十一日、不肖増木、3年ぶりに参加し、感謝のまことをささげたいと思います。一緒にしませんか。(要領末尾)

私が前回参加したのは平成二十年、同じ十月二十一日でした。

会場は淡路島の南端福良の町(高速西淡三原IC)から南へ15分くらいの瀬戸内海が一望できる高台。天気快晴。遠くに姫路市。百人の会の理事、森脇保仁、同和田一朗両兵庫県議を先頭に、岡山からテル爺こと西川晃男氏も駆けつけ総勢12名で参加。自衛隊徳島航空隊喇叭(ラッパ)の演奏が今も耳に残っています。

この高台を若人の広場と呼び、三角錐の記念塔、そしてその横に資料館があります。紆余曲折があり今資料館は朽ち果てていますが、昨年5月に南あわじ市が土地建物を買収し、前記県議らの尽力で保存に県の予算が付きましました。時間はかかると思いますが、復興への第一歩を踏み出しことができました。今年も森脇議員が参加されます。

式は国歌斉唱の後神事が行われました。「修坂の儀」に始まり、喇叭演奏、巫女に

よる神楽奉納。般若心経読経、玉串拝禮。このような感じで、十一時に始まり、一時ごろ終わったように思います。難点は交通の便が悪いこと。新大阪からワゴン車で2時間ほどでいけるといいますので、9時出発。神戸の湊川神社から朝8時半に貸し切りバスも出るそうです。ぜひ同行ください。090-3710-4815

「最近の若者は可愛そうだ。大学を出ても就職がない。」とよく言います。確かに可愛そうだ。就職がない。「それなら代わりに戦場に行け。」と言いたい。フザケルナ。贅沢もいいた減にしろ。スポーツ新聞を見てください。求人欄に求人が一杯載っています。職を選ばなかったら就職くらいいくらでもあります。能力以上を搾そうとするからなのです。

神宮の杜から戦地に赴き、帰れなかった彼ら。彼ら職を選ぶ権利はなかった。若い人に参加していただきたいと思います。

増木



巫女による、神楽奉納

酒井信彦教授の日本ナショナリズム

〇・11テロ事件を口実に歴史を
逆流させたアメリカ

2011年9月16日

<http://sakainobuhiko.com/>

今年が9・11テロ事件の10周年に当たるということで、最近この事件とその後アメリカの行動、すなわちアフガン・イラク戦争・イラク戦争が、何かと話題になっている。しかしこの事件とその後のアメリカの行動が、世界史の進歩・発展に与えた重大な悪影響については、殆ど注目されることがない。それは世界の歴史の進歩と言うものを、客観的に見てゆかなければ分からないからだろう。

第二次大戦後の世界史の大きな転換点は、今から20年ほど前の、いわゆる「冷戦体制」の崩壊である。戦後の世界においては、資本主義体制と共産主義体制との深刻な対立、具体的にはアメリカとソ連の対立関係が続いた。しかしソ連が自滅して共産主義でなくなり、ソ連を含めた東欧諸国が民主化され、ソ連やユーゴスラビアといった多民族国家が解体して、民族独立が実現した。世界史の進歩の目安である、民主化と民族独立が東ヨーロッパでは見事に実現したわけである。そしてソ連の崩壊によってアメリカは唯一の超大国を自負するようになる。ただし世界にはまだまだ、民主化と民族独立が実現していない広大な地域があることを忘れてはならない。それは東アジアである。東アジアでは、ソ連の衛星国であったモンゴルが民主化しただけで、中共・北朝鮮・ベトナムといった共産主

義国家が、厳然と存続している。また中共は、その内部に多数の異民族を支配する、民族の牢獄のままである。東アジアの民主化と民族独立こそ、解決しなければならぬ世界史の最大かつ緊急の課題である。しかしアメリカは、この最大の課題に真剣に取り組まなかった。

アメリカは中共の急速な経済成長を促進した。中共に、安価な労働力による安価な工業製品を製造させて、自国民に提供するためである。そこには、中共経済の成長が民主化に結びつく、という思惑があったかもしれないが、そうだとしたらそれは余りのも甘い判断であった。中共は成長した経済力で、国内の支配をますます強化するとともに、富国強兵路線を邁進して、軍事大国に成りお世話。

この傾向を一層促進したのが、9・11テロ事件後の米国の行動である。これによって東アジアの民主化と民族独立という、世界史の最大の課題は吹っ飛んで、テロの撲滅が最大の課題にすり替わった。そのために、テロ対策を名目として、米国と中共が更に一層癒着関係を深めることになった。米国はテロの犯人はイスラム教徒だということで、テロ撲滅の名分を掲げてアフガン・パキスタン次いでイラクに攻め込んだ。これによって、ソ連の解体による中央アジア諸国独立が、自国の東トルキスタンに影響することを警戒していた中共はイスラム教徒であるウイグル人の独立運動の弾圧を公然とテロ対策だと称することができるようになった。これはイスラム教徒以外のチベット人の運動にも深刻な影響を及ぼしている。更に中共と同様の動きは、旧ソ連の口

シアでも見られる。ソ連が解体することによって、民族の独立はかなり実現したが、ロシア自体がいまだに広大な領域を有しているから、その内部にも民族独立の問題を抱えている。その典型がコーカサス地方の、チェチェン独立問題である。ロシアはこの独立運動を強力に弾圧し、チェチェン人はそれに対して過激なテロで応えてきた。9・11以後、ロシア政府が幾ら過酷に弾圧しても、国際的に批難されることはなくなった。独立弾圧だけでなく現在のロシアは、プーチンの指導の下、急速にソ連時代に回帰している。つまりテロ撲滅に目を奪われ、民主化と民族独立と言う歴史の進歩が忘れられ、正義が踏みにじられる暗黒の世の中になっている。歴史の流れは完全に逆流してしまっている。しかしそもそも原理的に、テロを撲滅できるわけではない。戦争すら無くすることができないのであるから、極めて小規模な集団で実行するテロを、完璧に撲滅することなど、できるわけがないのである。最近ノルウェーで起こったテロなどは、個人による大規模テロの遂行である。つまりテロ撲滅こそ、虚構の大義である。

米国は〇・11テロの報復のために、アフガン、イラク戦争というテロ撲滅戦争を敢行しながら成功していない。テロの犠牲者より多くの軍人が戦死し、その何倍もの現地人の犠牲者を出しながらである。しかもその愚かな戦争によって、アメリカは経済的に甚だしく疲弊してしまっただ。今や米国が、中共やロシアと厳しく対決することなど、全く考えられない。こんなテトラメなことをやっている米国に頼りきって、自分で自国を防衛する気力すらない日本人は、既に精神的に滅んでいると言わざるをえない。

戦後64年初の給食(家島)

知らなかった。南海の孤島じゃあるまいし。給食のない学校があったなんて。

給食。あまりにも当たり前すぎる。金輪際、日本中の学校で好き嫌いを言う生徒には給食を食べさせるな!! マスキ

【兵庫】島の子ら「おいしい!!」義務教育の4年での給食

2011年6月5日 朝日

戦後の義務教育が始まって64年、これまで一度も給食がなかった姫路市立家島、坊勢の両小学校で2日、初めて給食が振る舞われた。みんなでそろって同じ献立を食べ、子どもたちは「おいしい!!」と元気な声を教室に響かせた。

これまで家島諸島には給食を作る設備がなく、かつては昼になると家に帰ってご飯を食べた。やがて弁当持参になったが、保護者からは給食の実施を求める意見が多くなっていた。

市は、家島小学校舎を今年3月に新築した際、1階に給食センターを設けた。作るのは家島、坊勢の両小学校の計約400食。坊勢小にはおかずのみを専用船と配送車で運び、ご飯は島の民宿が協力し炊く。

給食費は本土と同じで月4165円。島内で買えない食材の調達費として、年300円を徴収する。

この日正午、初めての給食の時間を迎えた。家島小(同市家島町真浦)では、子どもたちが先生に教わりながら、慣れない手つきでおかずを取り分けた。この日の献立は野菜たっぷり牛丼、ゆでたコーンとキャベツに牛乳。「いただきます」の号令で、一斉に給食をほおばった。

石原救国内閣しかこの国を救えない

東京都議会議員 土屋 敬之

『秘書が逮捕されれば辞任する』と言ったのは、鳩山由紀夫氏だ。ところが秘書が逮捕され、有罪になってもそんなことは「忘れてる」

政治家のことがこんなにも軽くなっている。

「政治と金」を野党時代追及していた民主党政だが、当時、民主党にいた私は『旧田中派がいてよくも言えたものだ』と思っていた。

案の定、小沢一郎氏の秘書が逮捕され、有罪になっても、野田総理以下「だんまり」を決め込んでいる。小沢の反乱が怖いのだ。これ程、国民をばかにしたことはない。無実なら、石川代議士も、小沢代議士も含めて、証人喚問に應じるべきではないか。

民主党は、「それより災害復興が優先だ」と災害を盾にした作戦に出ているが、これは災害の政治利用だ。災害復興もしなければならぬが、小沢問題も明らかにしなければならぬ。人間の脳は同時に複数の仕事ができるように発達しているはずだ。単線ではない。

野田総理は「民主党は保守政党だ」と言うが、日教組などをかかえた政党のどこが「保守」なのか。日の丸をみるとへどが出ると言った人間が閣僚に入っている政権のどこが「保守」なのか。

以前に書いたが、野田政権は、革命管政権より程度が悪い。「保守だ」と言えば国民は騙せると思っているのか。

大体、4億の金を右から左に動かしている政治家は利権政治家以外の何者では

ない。普通の人間の生涯賃金は1億円と言われるが、その倍の金だ。持ってきた企業はどんなかたちで渡したか吐露している。

渡してもいない物を吐露して、有罪になり前科がつくことをやる人間がいるのか？

有能な弁護士を雇い、無実を勝ち取ろうと言う作戦なのだろうが、では、立法院の自浄作用はどうした。まあ、過激派もいる政党だし、過激派に資金を迂回して渡していることに誰も異議を唱えない政党だから仕方ないかも知れないが、野田政権に期待してもこの国家は滅亡に向けて確実に前進するだけだと言う認識を持つべきではどうするか。真正保守が結集して、石原救国内閣を組織するしかない。

「あたりまえ」の政治家が、現在では石



日の丸を侮辱するなり 伊藤忠
日の丸行進主催 石黒大圓

大阪のと真ん中、御堂筋船場の伊藤忠商事の建物の入口の大きな日の丸について、8月に伊藤忠商事の問合せメールに以下のように意見を述べました。

.....

伊藤忠商事様 (一部略)

..... 私は大阪市中央区の船場に永年住まいする者です。.....

気になっていたものが、建物の入口に掲揚されている日章旗です。 毎日掲揚

されていて国を愛する私としては本当にうれしく思っております。

しかし最近になって気づいたのですが、日の丸の国旗が相当痛んでおり日の丸の赤がピンクに、布も下のほうは裂かれたようになっています。 国際的商社としての伊藤忠商事様にはふさわしくないとと思われるのではないかと

《下段段頭へ》

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

石原氏ならそれが出来るし、大胆な「維新」も出来るだろう。年齢は関係ない。「若い内閣」と言われる野田内閣の体たらくを見たら、それが必須要件だとは思わない。救国内閣を作ろう!!



たまたま去年の写真がありました

《↓上段中央より》

..... と思いました。国旗を何よりも大切にされている外国の方から見られたら失望されるのではないのでしょうか。せっかく毎日国旗を掲揚されている尊い行為をされているのですから、ぜひきれいな日の丸を御堂筋を行き来する方々に見ていただきたいと思ひます。よけいな意見を述べた失礼かと思ひましたが、ぜひ日本のために国旗を新しく新調していただきたくご配慮を願う次第です。

伊藤忠商事様には永年の船場でのご商売、ありがとうございます。国際的商社がこの地にありましたことは私たちの誇りでもありました。この地を去って行かれるに当たって、ぜひその国際的商社としての名残として国旗を新しくして、末永く残されて行かれることをお願い申し上げます。 石黒大圓 拝

結果を出す——これが運動だ！

我々はなぜ運動をするのだろう。少しでもよい日本を作るため。豊かな伝統と文化、誇りある日本を子や孫に残すため。少なくともこのM情報をお読みいただく各位には目的に関しては異論はないと思う。要は手段である。日本は法治国家。三権分立（憲法無効論は今では言わないでください）。良いか悪いかは別にし、現実だ。我々はその中で、この目的に向って答えを出していかなければならない。それが運動だ。

さて、三権分立。中学校の教科書には「司法」「立法」「行政」と書いてある。国においては「裁判所」「議会」「内閣」。地方においてもそれぞれの役所がある。その判断で世の中が動くのだ。ただ、動くといっても新幹線なみとは行かない。新幹線の線路をらくだの背中に乗って旅行をするのを宇宙船から見よう。話。だから非常に動きがわかりにくい。だからあせるのも良くわかる。嫌、誰よりも私が一番あせている。しかし世の中を変える権限と執行できるのは、三権を發揮する役所だけなのだ。だからそこに働きかけ、そこを動かさなければ何の意味もないわけである。

最近、巷間街宣や、デモが非常に活発に行なわれている。それはそれなりに意味がある。しかしあくまでも手段である。「三権」の役所を動かすための手段でなければ何の意味もない。やもすると「騒ぐ」ことが目的ではないのかとさえ思えるデモもある。本末転倒な騒ぎだけは慎むべきである。

そこで、「三権」の役所を動かした3例をご紹介します。と思います。

神奈川のか藤哲男氏。左翼の札付き議員を違法寄付行為で刑事告発

1 例目は、神奈川のか藤さん。左翼の札付き議員を違法寄付行為で刑事告発されました。

しばしば「訴えるぞ！」と言います。わたしはその瞬間『この人は民事であろうが刑事であろうが、司法のお世話になった経験はないな。』と判断します。素人が資料を取り寄せることなど、よほどの手間隙、根気と覚悟がなければ司法界とお付き合いできません。

その代わり、警察が告発を受理さえしたら、デモ100回くらいの効果はあると思います。議員なら小沢一郎議員くらい大者でない限り、次の選挙で確実に落選。日本の警察は「疑わしきは罰せず」真つ黒の確証がない限り原則告発は受理しません。白髪が一本あっても受け付けません。「完全な証拠をそろえろ」と言われます。思わず「それは警察の仕事だろ！」「とつぶやくのが落ち。理屈がどうあろうがこれが現実です。だから「訴える」などと簡単に言えるわけがないのです。民事は一本や二本白髪が入っていても勝てますが、似たり寄ったりです。

愛知県（大村知事）、名古屋市長（川村市長）は、国旗不敬を働いた、名古屋グランパスに對し、抗議と指導を、日本民族行動会議代表細田政一氏に書面で

2 例目は「行政」に働きかけ、成功し

たケース。

名古屋グランパスが、韓国で試合をする際トラブルを避けるため日本からの応援団に「日本国旗」を振ったの応援をしないよう求めた（詳細はM情報120号）

ことに對し、日本民族行動会議代表細田氏がグランパスの後援会長愛知県知事や名古屋市長に抗議し、同首長らに、グランパスの指導を約束する書簡（念書）を出させました。地方自治体の長が一般市民に念書を出すことは絶対に近いくらいありません。細田氏らの想像を絶する長年の活動がなせる業。

大阪府私立千代田高校 校内に慰安所 上島一彦府議激怒！ 15時間で解決！

3 例目は不肖増木が活躍した自慢話です。・・・恐縮！

9月21日夜10時、東京の貝塚さんから、

「大阪府知事はこれをどう考えているのかなあ？ 酷い洗脳教育が今も続いている。なぜこのような高校を野放しにしているのだろうか？ <http://t.co/m3XJxY7>」というメールをいただいた。

早速エドをあげると、大阪府河内長野市の私立千代田高校の学園祭で慰安所を復元したというのだ。ナニ・・・？

「文化祭で「慰安所」問題を学び、教室に慰安所を再現した生徒たち。

侵略の学習にみる平和教育の難しさ

大阪府千代田高校教諭 谷山 全」

と谷山先生のレポートが掲載されている。オイオイオイ、いくらなんでも校内に慰安所とは。要は校内に売春宿ができたわけ。

反日云々の問題ではない。トンデール！要は校内に売春宿ができたわけ。私は旧知

上島一彦大阪府議（大阪維新の会）に下記コメントをつけて善処と結果報告を要望。議員は激怒。こういう場合、なぜか私がいつも怒られる・・・？

千代田高校の校長でもないのに。ベ貝塚正恵さんはお江戸の方。江戸からこのような指摘を受けたら、ナニワの恥！ トオルクン（※橋下知事）を先頭に、議員全員切腹ものですゾ！ マスキ

議員から折り返し「至急調査する。」とのメール。それから15時間後の22日昼、千代田高校は私立だから府は原則ア

ンタツチャブル。橋下知事の朝鮮学校への対応を見ればわかると思うが、反日教育は絶対許さない人。私立高校への助成金を止めることも可能。

3 早速学校と連絡。みっちり〇〇。事件は8年前のことらしい。学校が始末書を書くというので、今回はこれで収めようと思う。

と、お電話をいただいた。早い！ 15時間で解決。上島議員は力ッカして一睡もせず、夜が明け校長が出勤するや否や噛み付いたのでは。校長にしてみても前任か前々任の校長ときの出来事。「何でオレが！」と思っているだろう。少々同情もするが、歴代校長の連帯責任だ？？この種の事案の解決には公開質問状を送り、校長意見を聞いて、それから抗議・・・普通1〜2ヶ月は常識。

ところが今回は抗議の準備をする間もなく解決。さすが議員の力。上島議員に感謝は言うまでもないが、いくら上島議員でもいきなり知らない人が行ってもそれは応じられないだろう。常日頃の付き合い（信頼関係！）が何よりも重要。増木

加藤哲男氏の告発状(2本)

告 発 状

神奈川県警察本部刑事部捜査第二課長
司法警察員警視 大島正洋殿

平成23年6月6日

告 発 人 加藤哲男

神奈川県・・・

被告発人 小田原市議会議員 細田常夫

神奈川県小田原市・・・

告発の趣旨

被告発人は、後記のとおり公職選挙法で禁じられている寄付の禁止の罪を犯した容疑があるので、速やかに捜査のうえ厳重なる処分を求めます。

告発の理由

1 告発事実

被告発人は、平成19年4月22日施行の神奈川県小田原市議会議員選挙により選出された同市議会議員であるが、法定の除外理由がないのに、平成21年8月18日ごろ、神奈川県小田原市堀之内152番地井上義行選挙事務所において、同選挙区内に居住する井上義行に対し、陣中見舞名下に現金10,000円を寄付したものである。

2 告発に至る経緯

上記告発事実とは、井上義行選挙事務所の出納責任者である藤江洋子が、神奈川県選挙管理委員会に提出した選挙運動費用収支報告書に記載されているとおりである。

選挙運動費用収支報告書には被告発人の職業が「無職」と記載されており虚偽

記載にあたると思量するが、この事実についての判断は御庁に委ねることとする。

公職の候補者である被告発人が、選挙区(小田原市)内の有権者である井上義行に行った本件寄付は、まさに公職選挙法に抵触する違法行為である。

告発に先立ち、告発人は平成23年4月26日午後、選挙運動費用収支報告書に記載されている被告発人の住所地を訪問し、居合わせた被告発人と面談をした。面談の際、告発人は選挙運動費用収支報告書を被告発人に示し、被告発人によって違法な寄付が行われたことを指摘したが、被告発人は全く意に介した様子もなく、次ぎのように寄付をした経緯を告発人に説明した。

被告発人は、同じ小田原市小八幡において「うおり俱樂部」という飲食店を営む経営者が自身の支持者であることから、この経営者から経営者の親族である井上義行への選挙支援を求められたうえに、小田原市議会で同じ会派に属する大野市議会議員からも同様の支援要請を受けたと告発人に述べた。

そこで、井上義行選挙事務所に陣中見舞いのため訪問したこと。訪問の際には「祝儀」として寄付金を提供した旨を述べた。被告発人が言うには、『選挙というのはお祭りですから、お祝いをするために祝儀を持っていくのは当然のことです。今になって、差し上げた祝儀を返してくれなんてことを言う気はありません』とのことでした。告発人が、被告発人から違法行為をしたとの認識を確認することはできなかった。

その後、来年の小田原市長選の動向を意見交換し告発人が帰ろうとした際には『こういう政談も含めて、一杯やりながらするのが良いんです。今度、一杯やりましょう』とまで言う始末でした。

らするのが良いんです。今度、一杯やりましょう』とまで言う始末でした。

上記告発事実について被告発人に反省する様子も見られないため、平成23年5月25日午前10時前、告発人は小田原市議会内の議員控室(会派控室)に居た被告発人と大野市議を訪ね、大きい封筒に資料と共に同封した「議員辞職勧告書」を両名に手渡しました。その際、控室には神永四郎市議会議員も在室していたので、告発人は敢えて「議員辞職勧告書」ですと告げることはせず、『重要な資料ですので、必ず一読下さい』と申し添え控え室を辞去しました。

「議員辞職勧告書」には平成23年5月27日までの自発的な議員辞職の意思を確認する期限を設定しましたが、同日までに議員辞職することを含め一切の連絡も無いため、告発人は被告発人による違法行為への反省と、これに伴う自発的な議員辞職は期待できないものと判断し、本告発状のとおり告発することを決意しました。

罪名及び罰条

被告発人は上記のとおり告発事実により、公職選挙法第199条2(公職の候補者等の寄付の禁止)に違反し、同249条2第3項が罰条として適用されるものと思量する。

告発に値すると思量する証拠

1 平成21年8月30日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙(神奈川県第17選挙区) 候補者 井上義行選挙事務所出納責任者 藤江洋子作成 選挙運動費用収支報告書 (神奈川県選挙管理委員会平成21年9月14日收受)(写し) 1通

2 名刺(小田原市議会議員 細田常夫)(写し) 1通

3 議員辞職勧告書 1通

4 小田原市議会議員名簿 (平成23年5月6日作成) 1通

|||||

告 発 状

神奈川県警察本部刑事部捜査第二課長
司法警察員警視 大島正洋殿

平成23年7月26日

告 発 人 加藤哲男

神奈川県・・・

被告発人 大野真一後援会

代表者 久保田建治
神奈川県小田原市・・・

告発の趣旨

被告発人は、後記のとおり公職選挙法で禁じられている寄付の禁止の罪を犯した容疑があるので、速やかに捜査のうえ厳重なる処分を求めます。

告発の理由

1 告発事実

被告発人久保田建治は、神奈川県小田原市議会議員大野真一の後援団体である大野真一後援会代表として、同後援会のため一切の事務を処理していた者であるが、後援団体の役員、構成員は当該選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず寄付をしてはならないのに、平成21年8月18日ごろ、神奈川県小田原市堀之内152番地井上義行選挙事務所において、同選挙区内にあ

る井上義行に対し、同後援会名義をもって現金3万円を寄付したものである。

2 告発対象者について

被告発人を寄付者とした井上義行への寄付金提供という上記告発事実は、井上義行選挙事務所出納責任者の藤江洋子が作成し神奈川県選挙管理委員会に提出した、選挙運動費用収支報告書(訂正分)に記載されているとおりである。

公職の候補者の後援団体代表である被告発人が、選挙区(小田原市)内の有権者である井上義行に行った本件寄付は、公職選挙法に抵触する違法行為である。

被告発人が行った寄付の対象者である井上義行は、被告発人と同居所(小田原市中曽根305番地)所在のビッグフィールドという建物内に「井上よしゆき後援会」事務所を置いているということだけでなく、大野眞一が井上義行選挙事務所の選挙対策本部長を務めているという被告発人にとってもごく身近な関係者である。

つまり、被告発人が井上義行に提供した本件寄付は、大野眞一自身が井上義行の選挙事務所関係者であるとの明確な自覚のもとに、陣中見舞として被告発人が井上義行に提供したものと思量される。

3 被告発人らに対する犯罪事実の告知について

告発人は、平成23年5月7日に大野眞一の自宅に隣接した事務所に大野眞一を訪ね、当初大野ちえ子の名義を使用した本件寄付が、公職の候補者である大野眞一による公職選挙法に抵触する違法行為であることを告知しました。その際に、大野眞一は「自分が知らないところで妻が陣中見舞を届けてしまったようです。普段からこういうことは十分に注意するように言っているんですが」と、本件寄

付が違法行為であることを認識した返答を告発人にしたうえ、まさに大野ちえ子が自己判断で、被告発人や大野眞一の知らないうちにこの種の寄付を行わないということを告発人に証言していた。

その後、告発人は大野眞一が適切な対応をするものと期待していたが、大野眞一にその意思が無いものと判断したので、平成23年5月25日午前9時前、小田原市議会内の議員控室に居た大野眞一を訪ね「議員辞職勧告書」を手交した。すると、被告発人は平成23年5月27日に大野眞一の後援団体(政治団体)である「大野眞一後援会」が平成21年中に寄付をしたとする、平成21年分の政治資金収支報告書の訂正願いを神奈川県選挙管理委員会に届け出ました。

この政治資金収支報告書の訂正願いを受け、井上義行選挙事務所出納責任者の藤江洋子は、上記選挙運動費用収支報告書に記載された大野ちえ子名義による本件寄付を、大野眞一後援会が行ったとする訂正願いを、平成23年5月30日に神奈川県選挙管理委員会に届け出ました。

4 被告発人による本件寄付の実態

当初、本件寄付を配偶者である大野ちえ子が自己判断で行ったと大野眞一は言っておきながら、告発人から指摘を受け、ついに議員辞職を迫られるに至り、本件寄付を後援団体である大野眞一後援会が行ったものとする訂正届出を、大野眞一自身ではなく被告発人が行いました。

告発人は、本件寄付行為を大野眞一が当初から自分自身で行ったものと推測していますが、被告発人や井上義行選挙事務所による神奈川県選挙管理委員会への訂正届出を関係者の最終意思と認め、告発事実のとおり本件寄付を被告発人によ

る違法行為として告発いたします。

罪名及び罰条

被告発人は上記のとおり被告発事実により、公職選挙法第199条5-1(後援団体に関する寄付の禁止)に違反し、同249条5-3が罰条として適用されるものと思量する。

告発に値すると思量する証拠

1 平成21年8月30日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙(神奈川県第17選挙区)候補者 井上義行選挙事務所出納責任者 藤江洋子作成 選挙運動費用収支報告書
(神奈川県選挙管理委員会平成21年9月14日收受)(写し) 1通

2 同選挙運動費用収支報告書訂正分(平成23年5月30日收受)(写し) 1通

3 後援団体(政治団体) 大野眞一後援会 設立届、規約、異動届(写し) 各1通

4 後援団体(政治団体) 大野眞一後援会 平成21年分収支報告書(写し) 1通

5 議員辞職勧告書 1通
6 小田原市議会議員名簿(平成23年5月6日作成) 1通

愛知県、名古屋市の回答

愛知県からの回答

平成二十三年八月三日
日本民族行動会議 議長 細田政一様
愛知県教育委員会体育スポーツ課

拝啓 時下ますますご清祥のこととお

喜び申しあげます。

さて、先日お約束いたしました(株)古屋グランパスエイトへの申し入れと、その後の(株)古屋グランパスエイトの対応につきまして、御連絡させていただきま

す。
去る七月二十日、(株)古屋グランパスエイトの事務所に向うき、山本取締役事業本部長、森事業部長に対し、以下のよう質問及び申し入れを行いました。

○なぜFCソウル戦では日章旗を持ち込み禁止としたのか、その理由を窺いたい。

○今回の場合は特に従軍慰安婦訴訟問題との関わりがあるのではないかとこの指摘があるがその点について確認したい。

○日章旗は我が国のシンボル、国民のアイデンティティの証として尊重し、大切にすべきものであり、今回の日章旗の取り扱い及びホームページの表記については適切でなかったと言わざるを得ないと考えている。

今後は国旗の取扱いについては、慎重に判断していただきたい。

○知事も公人として貴後援会の名誉会長を務めている。貴社としても、今回の件について、文書をもって説明と申し入れについてのご回答をいただきたい。

これを受けて、七月二十九日、(株)古屋グランパスエイト福島専務取締役、山本取締役事業本部長が、本課からの質問及び申し入れに対する以下のような内容の回答書を持参し来庁されました。

~~~~~  
○今回の件に対する知事への謝罪。

○韓国においては、日常的には日章旗を持ち込んでも危険はないと考えるが、サッカーの試合内容や結果によっては、興奮した相手サポーターがどのような行動に出るかは予見できず、常に細心のリスク回避策が求められる。今回の対応も、最悪の事態を想定した上での日本人ファン・サポーターに対する安全確保のための措置であり、それ以外の理由はなかった。

○(株)名古屋グランパスエイトは、日章旗を我が国の象徴であり、日本国民のアイデンティティの証として重要な役割を果たしているものと認識し、日本人ファン・サポーターの日章旗への思いも汲むとともに、日本を代表して出場しているという想いから、指摘のあったFCソウル戦においても、ピッチサイドのベンチ背面に日章旗を掲出して試合に臨んでいた。

○(株)名古屋グランパスエイトには日章旗を軽視したり、愚弄したりする気持ちは毛頭ないが、今回の対応及びはームペーシの表記に関しては、熟慮が足りず、誤解を与えかねない点もあったことを素直に反省している。

○今後も知事には後援会名誉会長として御指導、御鞭撻を賜りたい。

なお、申し入れに向いた際に(株)名古屋グランパスエイトから、従軍慰安婦の訴訟問題については承知しておらず、試合中に抗議の横断幕が掲げられたという記憶もない旨の回答が口頭でありましたので、申し添えます。

本課からの質問及び申し入れに対し

て、(株)名古屋グランパスエイトには、誠意ある対応をしていただけと考えております。

今後も(株)名古屋グランパスエイトに対しては、適切な助言を与えていきたいと考えております。

時節柄、御身御自愛の上、益々の御健勝をお祈り申し上げます。  
敬具

### 名古屋市の回答書

平成二十三年八月五日

日本民族行動会議 議長 細田政一様

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

過日お話をさせていただきました件につきまして、去る七月二十日、(株)名古屋グランパスエイトの事務所にて担当役員に

対して、日章旗が持込禁止とされた理由の説明を求めるとともに、正当な理由がなければ今回の取扱いが適切なものではないと言わざるを得ず、表記も適切でなかったと考えている旨、改めて申し入れを行い、本市への回答を求めました。

これに対し、七月二十八日、(株)名古屋グランパスエイト専務取締役が来庁し、下記を内容とする回答書を受けました。

○今回の案件について多大な面倒、心配をお掛けしていることを深くお詫びすること

○今回の対応については、最悪の事態を想定した上での日本人ファン・サポーターの安全確保のための措置であり、それ

以外の理由はなかったこと

○日章旗をわが国の象徴であり日本国民のアイデンティティの証として重要な役割を果たしているものと認識している

○日章旗を軽視したり愚弄したりする気持ちは毛頭ないが、今回の表記および対応に関しては、熟慮が足りず、誤解を与えかねない点もあったことを素直に反省していること

○五月二十五日に韓国で開催された「AFCアラウンド16水原戦(スウォンワールドカップスタジアム)」の観戦案内では、表記を見直し対応していること

○今後も引き続き名古屋グランパス後援会顧問として指導して欲しいこと

この回答に対し、本市としては、国旗及び国歌に関する法律において日章旗を国旗と定めており、国家の象徴として大切に扱われているもので、国際大会において国旗を持込禁止にするという今回の対応については、他の試合において持込禁止の取扱いがなされておらず、遺憾なものであったといわざるを得ず、またその表記についても適切でなかったと考えており、国旗の取り扱いについては、慎重にご判断いただくよう、重ねて申し入れをしたところです。

なお、今回のことについて、(株)名古屋グランパスエイトから謝罪をいただいていることに鑑み、今後も後援会顧問として適切な意見を申し上げたいと考える。

名古屋市

以上、名古屋グランパスに対して、愛知県並びに名古屋市が当会議との会談の際に約束をした厳格なる抗議と詳細を求める申し入れを行って戴いた事に、この紙面を借りて御礼申し上げます。

今回の名古屋グランパスエイトによる日章旗愚弄問題に対して、当会議として出来る限りの行動を展開した結果、愛知県並びに名古屋市が理解を示して戴き成果が上がったものだと思われ、この問題への取り組みは一旦小休止し、今後、名古屋グランパスエイトによる国旗に対する認識が変わる事のないよう静観する事にした。

日本民族行動会議 議長 細田政一

これが運動ではないか。答えの出ない活動は何もしないのと同じ。答えを出すことに貪欲になろう。

増木

### 電子ポットのお湯の出は良いですが 増木

嫁が春の選挙で、森脇保仁兵庫県議会議員に「手伝え!」と呼び出されそしてそのまま困われてしまった。そして半年。皆様もご自宅に電気ポットがあると思います。お湯の出の調子良いですか。

2〜3ヶ月くらい経つとだんだん出が悪くなる。「氏の〇〇みたいに。そこで分解してネットに溜った水垢を掃除。また快調にお湯が出る。

ところが嫁の困われの地、宝塚市では一切出が悪くならない(水垢がたまらない)という。水源は宝塚の山奥。

私は千里ニュータウン。水源は箕面の山奥。もちろん適正に処理された(?)水道水だろうけど、水垢が溜まる。水源

は大事にしないといけないとあらためて思った。

増木

## 各位からひびくこと

## 建設国債の大量発行を！

阿部道子(神奈川)

## 土地を中国に買われぬように

近年、日本の地価が下落の方向にあると発表されました。日本の森林、水源地、国防上、大切な土地が中国に買われているとのこと。東日本被災地も今回の大洪水被災地の方々も今非常に困窮していると思います。安く叩かれ決して中国に買い取られぬように、建設国債を当ててください。日本は、自分で自分の首を苦しめている。中国へのODAは何のためか。海洋国日本には離島も地下資源も沢山あり、NOO海軍もあります。国防を！

建設国債を大量に発行し、これらの復興財源に緊急支給出来るかと先日、学びました。今からでも遅くはないでしょう。また先日、講演会で、政府通貨発行のことを学び素晴らしいですが、今の民主党政権下では、両刃の剣。万が一もっと外国人にばら撒き、悪用されては困る。良い政権に変わるまで、危険だと思います。議員の先生方は何とか建設国債を早期実現してください。この度被災地の片付け災害復旧、復興はもとより、防波堤や道路建設、学術研究開発、教育、林、畜、農、漁業、加工業等にも大規模資金を回し、古代文化遺産の保護。反日メディア戦争にも、負けてはおられません。

もし建設国債が間に合わなければ、相続問題のある高齢者は、日本のこれら大切な土地を先ず買い取らせて頂き、この土地を子供に相続したら国防にもなります。現金は貧しい位が適当です。支えあう地方活性

化のお役に立てるのではと思います。お返しできる時が来たら元金に土地をお返しし、個人の交流、深い絆も視野も広がります。

各町には寺子屋式の集会所を造り、例えば神話や偉人伝、日本の昔話、簡単な手芸、童歌、昔の唱歌。古代言霊文字なども学びあえたなら、今は復活しよい教材も沢山あります。子供、若者、大人、老人にも喜ばれます。

こうした保守の真摯な絆も、近所に今必用です。先日、思いがけず言葉を学び、楽しかったです。永年、朝日新聞を購読している人々に、日本の現状を少し説明しても歯が立ちません、共に忙しいのと(今振り返り、永年左翼は実に熱心に市民運動に努力して来ました)。

自由社や育鵬社の歴史、公民の教科書なども自由に用いて楽しく、愛国心に目覚められると思います。

私は高齢ですがこれから自由社の教科書を、読みます。私は小学校6年生で敗戦、当時、世界最高の憲法と学び、喜びあいました。炎書のことは知らされず、戦災に遭い火傷をしても、日本復興に懸命でした。今、思えば小学校時代は別として。

戦後は天照大神、神武天皇以来の本当の日本史も良く学びませんでした。しかし「大化の改新」は堂々と学びました。当時、日本の国策としても、「陽いする国の天子」より・・・「国の主権」の重要性、誇り高い大和の国として乗り越えた。十七条憲法等も・・・太子

の肖像画を見ると胸が高鳴り親しみを覚えました。何時の間にか聖徳太子の一万円札が無くなり残念で、何故お札が？私の問いに、聖徳太子は実在しなかったようよ。答えでした。

最も大切な誇りを左翼は叩き潰す。また弱い穴があれば入り込む。共産党のやり方です。

今、自治基本条例もたけなわで足元でも詳しい説明も受けないまま、どんどん増殖しています。これでは日本国は中国の属国、自治区として分断され兼ねません。地方の活性化も大切ですが、地方主権は憲法違反で危険です。

今回の大地震津波、原発事故対策でも解ってきました。自衛隊の雄々さ優しさ、確りした政権国が重要です。寺子屋でも学べましよう。「大化の改新」当時の苦労は今とよく似ている？とフト思います。

伝統文化の継承「国家主権」国体、現男系天皇制、大和の絆、DNA、自然に学びあえると思います。

先日、田中英道著の書籍『戦後日本を狂わせた、「OSS日本計画」二段階革命理論と憲法』を買いました。日米安全保障条約で日本の平和はここまで維持され大きくは感謝です。今回の大災害でも仙台湾をいち早く片付け頼もしい友好国でした。しかし、ルースベルトが「共産党で二段階革命理論」これ程とは知りませんでした。日本の狂い、複雑な筈で、目から鱗です。日本解放第二工作要綱、は以前共産党勉強会で、共に学びました。今回、「ルースベルトよ お前も か？」と嗤然とします。

共に目覚めて「日本は必ず救われる」と信じております。以上、戦後の年、色々と絡み合っておりますが、書かせて頂きました。

## 思想に基づいた「国家革新」とは反体制運動である

榎 泰智(政経調査会)

9月11日(日曜日)に新宿で「反原発」だかのデモ行進があったようで、これに反対する勢力との小競り合いの結果、主催者側の人間が12人ほど逮捕されたようだ。警備の警官に対して殴ったとか何とかの公務執行妨害と主催者に対する公安条例違反だとからしい。

逮捕の模様をニコニコ動画で観たが、なんとも言いようがない。反原発のデモ隊が極左・左翼勢力なのかそれに挑発された一般市民の集まりなのか、私としては知る由もないが、彼等の逮捕に対し諸手を挙げて歓声をおくる反対派||原発推進派の様子が稚拙にみえる。

逮捕者周辺を取り囲み、警官に向って「早く逮捕しろ」「逮捕だ。いえーい」「射殺しろ」と無責任な言動で騒ぎまくる。まあ、思想運動とは無縁の人々だから当然の対応であろう。

反原発という現体制に対する抵抗勢力が、いとも簡単に国家権力によって逮捕される現実に対しては、何の危機感も持たない人々なのである。主催者が逮捕された理由と言うのはデモ隊を歩道にまで広げた公安条例違反だとか。

この程度でも逮捕する理由付けになるというのが、いずれは自分たちにも還って来る現実が予想できていないのだろうか。国家権力側からすれば、原発推進を唱える所謂保守と称される人々の方が、遥かに要注意の対象になっていることが分らないのか。

昨年の渋谷デモの際にも書いたが、デモ隊に乱入した在日朝鮮人に対し、デモ



隊に乱入した在日朝鮮人に対し、デモ隊側から「警察は何をやっている。早く逮捕しろ」との罵声が飛ばされたが、反対勢力から身を守るのは自己責任。安易に警察権力を介入させるべきではない。

警察権力を介入させるのが当たり前となれば、我々が左翼・反日勢力のデモ・集会に抗議した際に、否応なく警官隊によって排除される訳で、そこには民主主義の片鱗も見られない事になる。

それは米国大使館や支那大使館に対する抗議でもしかり。全ての政治活動が官憲によって規制されて当然と言う社会が構築されていく。だから政治活動に対する刑罰というのは軽いに越したことはない。政治的主張を掲げた非合法の行動に対する司法の判断とは、「自らの主張を通すために、暴力に訴えた行為であり、厳罰に処するべきである」として重罰を下すのが常となっている。

本来であれば「自らの経済的利益のため」、「己の性的欲求を満たすため」の犯罪に比べれば、減刑されてしかるべきところ、現実はその逆である。これは、国家権力を掌握する現体制からすれば当然の帰結である。体制側がもっとも恐れるのは私利私欲に促われない、国家改革勢力である。現体制が崩壊して自分達の既得権益が奪われることを最も危惧している。

そういった意味では、自らの性的欲求を満たすために幼女を誘拐殺害した犯人の方が安全であるから、こういった輩に對しても死刑判決が下されることは、まづありえない。

所謂保守と称される人々の訴える原発推進とは思想運動に立脚した上で、国家のエネルギー政策を論じているものではないだろう。

原発事故を契機として盛り上がる、左翼系市民運動に対する反発のようにしか見えない。思想運動であれば、官憲による安易な逮捕が自らの運動に適用されている実態に眼を向けられない訳にはいかないからだ。自分達の行動が規制された時には「不当な弾圧」と抗議するのと同じことが反対勢力に向けられた時には歓迎しているがどうしてこのような対応がとれるのか。自分達が権力側から如何なる眼で見られているかを冷静に判断できていないのであろう。

10年前に靖国神社に左翼が乱入してきた。今までは「反靖国」を標榜しても神社の敷地内に入る事はなかった。首相小泉による靖国参拝をめぐりこの年から左翼・反日勢力が堂々と境内に入って声を挙げるようになった。

8月の終戦の日の間近、「左翼乱入」の一報を受けて靖国神社に急行すると大村益次郎像の前で30人ほどのヘルメットにタオルで覆面の集団がハンドマイクで「反靖国」の集会を開催。中核派だ。周りは機動隊が楯を持って丸く取り囲み、外部からの抗議を遠ざけている。右翼団体や保守系の人々が「やめろ」「やめさせろ」と訴えているが警官によって押し戻されている。現着したばかりの私は通行人の振りをしてゆっくりと周囲を徒歩で通過。機動隊の楯と楯の間に隙間が生じ一瞬に飛び込んで行って、演説者に体当たり、マイクのコードを引きちぎった。周囲の者が覆いかぶさってきて転倒したところに警官隊が入って、離れた所に隔離された。

現場にいた公安が「被害者」側に事情聴取。相手が告訴すれば威力業務妨害・器物損壊は当然だろう。しかし、そこは中核派。告訴しないで《次段中央へ》

## 「外国人観光客1万人無料招待」国土交通省に抗議

門山榮作(神奈川)

こんでもない政策が検討されていることを、M情報で知りました。早速国土交通省に投じました。

「外国人観光客1万人無料招待」なる政策に11億円の予算化が検討されていると聞きました。一人当たり10万円を支給するこんでもない財政負担の売国政策で、断固反対します。

先に認められた「ビザなし観光」で取りあえず沖縄経由来日した後、一旦帰国してから沖縄を経由せず直接、九州、本州にやって来た後、雑踏に潜り込めば、そのまま日本に居座り続けることが可能となる。誰も、通行中の者を、観光客かどうか見分けはつきません。そのための再来日の渡航費は、10万円もあれば十分というわけです。 《下段段頭へ》

《↑上段末尾より》集会を中止して、その場を立ち去った。で、私は放免されたわけだ。

彼等は立場上は反対の位置にいるけれども、彼等なりに思想を持って行動している。そして、安易に警察権力を介入させることが、長い眼で見れば自分達の運動にマイナスであることを知っている。それは長年に渡って反体制の立場で活動として経験がある。

社会運動を実践するにおいて、自分の立ち居地は何処なのか。現体制とそれに追隨する暴力装置であるところの国家権力とは、如何なる位置関係にあるのか熟考することが肝要なのである。

## 《↑上段中央より》

この1万人の「観光客無料招待」は、ただの観光客受け入れが「狙い」ではない筈です。これらの観光客は、「不法滞在居住者」となる第一歩に過ぎません。そのままずっと日本に居続けて、いずれ年老いたと称する両親を呼び寄せれば3万人の都市が、アット言う間に、例えば、被災地で過疎になった東北でも、北海道でもどこにでもできてしまいます。「中国人居住区」が主要な都市に形成され、福祉予算を強要する住民集団ができてしまいます。このまさに、日本への人口侵略に日本国民の税金である「財政資金」を提供する政策に他なりません。

この愚策は、観光庁の掲げる政策です。創価学会員が多数在職すると言われる国土交通省が、平成20年に「観光庁」を省内に設置し、一宗教団体「創価学会」池田会長の意を汲んで、中川秀直自民党衆議員議員が10年以上前から、実質的に関与していたと懸念される「外国人移民受入1000万人」構想の一環に淵源する政策と認識されます。企図される中国人大量受入に道を開くために、国土交通大臣以外の日本国政府の他の大臣、及び日本国民が知らないところで、親中国政策の一環が推進されていると断定せざるを得ません。

政権与党の民主党にしてみれば、次の選挙での協力(11学会の票)を視野に、学会の意を汲んで、この移民受け入れ計画に加担しているとは思えません。

東日本大震災や世界的な景気減速から、観光客の来日が予定を下回っています。そういう事態の中の「観光推進」を隠れ蓑に、日本の財政負担を過重させ、国民の支え合う絆を分断するような、この予算措置には、断固反対します。

# 革命政権に文民統制される『暴力装置』の危うさ

兵法研究家 家村和幸

(撃論2011.4 Vol.1 投稿論文)

鳩山由紀夫氏は、一昨年の首相就任時に「これは『革命政権』だ」と述べ、その一年後に当時の官房長官・仙石由人氏が国会で『暴力装置』でもある自衛隊」と発言して物議をかもした。これらの発言は「方便」ではないようだ。『革命政権』と『暴力装置』とは表裏一体の関係にあり、鳩山・仙石両氏の発言を重ね合わせると民主党政権の本質が端的に理解できる。それにはまず、国家というものを考えてみる必要がある。

国家は「国体」と「政体」により成り立つ。「国体」とは、伝統や文化に基礎を置いたその国の価値、すなわち「建国の理念」であり、変えるべきでない、変えれば国家が精神的に消滅するものである。日本の「国体」は、古来「万世一系、祭政一致、君民一体」であり、米國や近代以降のフランスの「国体」は、「自由・平等・友愛」、中共の「国体」は「社会主義」である。日本の場合、天皇の下に万民が自由で平等であるという国柄から、欧米諸国と基本的な価値観を共有できるのである。これに対して「政体」とは、ある時代における政治の形態や体制であり、権力による国家運営である。日本では天皇親政、武家政治、江戸の幕藩体制、西欧式立憲君主制を模倣した明治維新体制、米國による占領統治を経て現体制へと連なる。外国では王制、立憲君主制、共和制、大統領制、一党独裁制等がある。

「革命」とは、この「国体」を抜本的に変革させる政治権力の行使である。

世界一古く、比類なき日本の「国体」(万世一系、祭政一致、君民一体)を民主党政権は好きではないようだ。政権交代以降の岡田克也、小沢一郎や中井治など党・政府の要職にある者の天皇・皇室に対する不敬極まりない発言、中国国慶節に配慮した休暇分散化構想による祝日の無意味化、天皇祭祀の簡略化、大相撲への異常なまでのパッシング等には、皇室の権威や歴史的・文化的地位を貶め、国民と皇室との結びつきを弱めようとする極めて意図的なものを感じる。まさに民主党政権は『革命政権』そのものである。

『暴力装置』は、この『革命政権』を維持するため不可欠なものである。既存の「国体」を否定する『革命政権』では、「国体」を否定する『革命政権』が最高権威となる。政権の存在自体が「建国の理念」であることから、党や政府を批判し、従わないことは全て「反革命」であり、「不正義」である。そして、これらを弾圧することが「正義」となる。『革命政権』は、弾圧の手段として警察や軍隊のような組織化された物理的破壊力を独占し、それらを用いて恐怖政治を敷く。これこそが、『暴力装置』である。「暴力」とは、腕力や武力をふるい、肉体的・精神的な苦痛を与えて相手を服従させる「不当な力の行使」である。「装置」とは、仕掛けを施した機構や仕組みのことであり、そこには人としての「心」は介在しない。『暴力装置』という極めて唯物的な警察や軍隊の運用により、人間の尊厳を踏みにじり、身体的安全と自由を奪うのは、人道に反する権力の行使である。仙石元官房長官の国会での発言は、「チベッ

ト・ウイグルや天安門での人民解放軍と同様の役割を自衛隊にも期待している」というサインだったのである。

本来、軍隊は「国軍」と「暴力装置」の二面性がある。「国軍」とは「国体」を守るものである。その主敵は侵略により「国体」の存在を脅かす外国軍である。これに対して『暴力装置』は「政体」を守るものであり、その主敵は国内外を問わず反政府勢力である。台湾二・二八事件での国民党軍や、天安門事件での人民解放軍の残虐な行動は、『暴力装置』の典型である。又、昨今の中東における政変では、『国軍』と『暴力装置』の違いをはっきりと示された。

エジプトではムバラク政権という「政体」から独立した「国軍」が、国民の側に立つて退陣を迫ったことから、政権は崩壊し、新たな「政体」が確立されるまで軍の最高評議会による暫定統治となった。こうして無用な流血を回避できたのは、インドネシアのスハルト政権崩壊時とよく似ており、「無血クーデター」とも言われるゆえである。

これとは逆に、シリアではカダフィ政権の『暴力装置』が、死者数千人にも及ぶ大々的な武力鎮圧に出たが、やがて国内全域が戦乱の巷となるや、陸軍部隊の多くが反体制

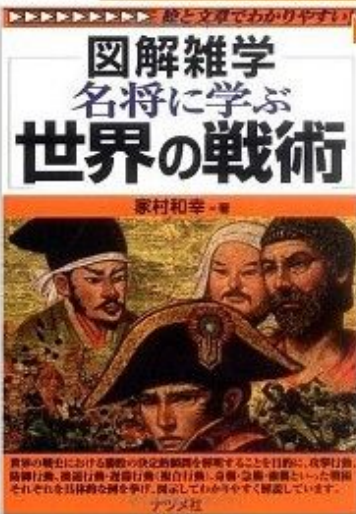
体制デモ隊に合流するようになった。あの天安門事件の人民解放軍でさえも、地元の北京軍区が武力行使を躊躇したので、他の軍区から派遣された機甲部隊により闇夜の中で大虐殺が行われたのである。このように、形の上では『暴力装置』を保持していても、実際にそれが機能するかどうかは別である。命令には絶対服従を求められる軍隊でも、良心ある人間であれば、自国民に引き金を引くのは極めて難しいことである。

さて、我が自衛隊についてであるが、そもそも法律上『国軍』ではない自衛隊は、法体系上は『暴力装置』になり得る武装集団である。軍隊とは「国際法又は国際慣習を準拠として実力を行使する重武装組織」であるが、自衛隊は「国内法を準拠として実力を行使する重武装組織」であり、その最高指揮官は内閣総理大臣であり、組織的には完全に「政体」の一部に組み込まれている。

革命政権が「政体」を維持するために「治安出動」を発令して反体制デモ隊に対する武力鎮圧を命令することは、法律上は可能なことである。

このように自衛隊という武装組織は、法制度上からは政治家や官僚が恣意的に運用する余地を残している。これは、大統領を最高指揮官とし、軍人による指揮命令系統が確立され、治安出動が州兵(予備役)の任務である米軍とは全く性格を異にする。今後、日本が再軍備する際には、米国の素晴らしい制度を大いに学ぶべきだ。

ただし、米軍とは「国体」を異にする日本の最高指揮官は、大統領ではなく、日本国民の総意に基づき「日本国の象徴であり日本国民統合の象徴」であられる御方しかありえない。



それでは、『革命政権』は、自衛隊を政権の意のままにコントロールできる『暴力装置』にするためにどのようなことを企んでいるのだろうか。以下は筆者の自衛官時代の勤務経験をも踏まえての「推測」ではあるが、その前にまず革命家レーニンの言葉を紹介しよう。

「戦争は政治の続きである。だから、戦争の前の政治を戦争へと導いてその目的を遂げる政治を研究しなければならない。……俗物連中には、戦争が政治の続きだということが分かっていないから、『敵が攻撃してきた』とか『敵がわが領土に侵入した』とか言うだけで、何がもていかなる階級によって、どんな政治目的のために戦争が引き起こされたかは調べようともしない。」(世界の名著レーニン、中央公論社)

自衛隊を『暴力装置』にする最も簡単な方法は、人事権をフルに使って自衛隊の上層部を全て軍事以外の何も分らない「俗物連中」にしてしまつことである。俗物とは、知的に怠惰な「無明」な人間である。「無明」とは、仏教用語で「ものごとを知らず真理に暗い、智慧の光に照らされていない状態」であり、あらゆる煩惱はこの無明から生じる。したがって無明な人間ほど、地位が上がれば煩惱のとりこになり、私利私欲で動くようになる。

現在は、超限戦という形態の「見えない戦争」の最中である。政治、経済、科学技術、歴史・文化、人間心理等を総合的に学ばなければ、この「超限戦」は理解できないが、そのために幅広く研鑽し、見識を広めるような幹部自衛官は「危険人物」として葬り去り、逆にそのようなことには疎く、「ゴルフ三昧で役人的な人物をどんどん登用すればよい。このため、自衛官の思想や言論の統制を徹底する。例えば自衛官

の思想や言論の統制を徹底する。例えば、部外の保守系の講演会などに情報保全隊や公安を潜入させて参加する自衛官が誰かを探り、その隊員には「右翼」のレッテルを貼ることで高級幹部への昇任を止める。自費で部外の大学に通うような者も要注意だ。又、部外雑誌への投稿や本の執筆は分野を問わず全て「検閲」する。保全・広報の関連規則や職員倫理規定、さらに部隊や機関ごとの内規で無断投稿や無断執筆を防ぎ、逃げ道を与えない。懲りない者には「退職」を迫る。自衛官に基本的人権など無いのだ。

次いで、自衛官と部外者との交流を断絶させる。事務次官通達で「隊員の政治的中立性」を強調することで、自衛隊の各種行事に部外団体が参加する際には、事前に「反革命」的発言、つまり現政権への批判を行わないように要請させ、もし受け入れられない時はその団体の参加を拒否させる。

さらには、いざというとき保身に走り、私利私欲で動くように精神的弱体化を図る。特に、「使命を自覚」させないように高級幹部教育の現場から国家観や歴史観を排除し、講義は全てカメフラで監視する。部隊でも「精神教育」を形骸化させ、あるいは実施させない。『国民の心を我が心とする健全な国民精神』を強調する「自衛官の心構え」(昭和三十六年制定)などは風化させ、知らないうちに危険思想として廃止してしまふ。幹部教育課程の選抜課目「体力検定」の不合格者を裏で手を加えて合格にする。あるいは選抜課目から「体力検定」そのものを無くしてしまう。こうして、高級幹部を全て口先だけで体力も人間味も無い、自ら考えよつとせず、長いものに巻かれる「無明」集団にする。「魚は頭から腐る」というから、

これで自衛隊は「無機質な、からっぽな、ニートラルな、中間色の、外見だけは軍隊のような、抜け目がない武装集団」になる。そこには、日本の歴史・文化への誇り、天皇や皇室に対する敬愛の念、先人への感謝の気持ち、武士道精神といったものが入り込む余地は無い。かくて自衛隊は完全なる『暴力装置』となる。それでもだめならば、自衛官の応募資格から「日本国籍」を削除して外国人傭兵部隊を作るしかない。

『暴力装置』となった防衛省・自衛隊は、今後、対人地雷やクラスター弾のような国防上極めて重要な武器も、政府の決定とあらば何の危機意識も無くホイホイと破壊していくだろう。全てが「シビリアンコントロール」のせいであり、我々の責任ではない、といった雰囲気蔓延し、「こんなことをしては国民に申し訳が立たない」と辞表をたたきつけて抗議する高級幹部などは一人もいなくなるだろう。このように、仙石氏の『暴力装置』でもある自衛隊」という言葉が真に意味するものは実に恐ろしいものである。第一線の現場で勤務する陸海空自衛官が、勤務にまい進しているその影で、政権交代後、こうした陰謀のいくつかは着々と実行されているようだ。

筆者は、隊長の職に就いていたとき隊員達に、「祖国を愛せ」「今日為すべきことを熱心になせ」と要望し、訓練の現場には常に自ら進出して、国民の負託にこたえられる実力を涵養してきた。年間の訓練プログラムは幕僚任せにせず自ら作成し、毎月全ての隊員に精神教育を行い、自衛官としての使命を自覚させるとともに、責任感や規律心、団結心などの徳を涵養してきた。昨今、こうした精神教育が全自衛隊的に形骸化しつつあるので

苦楽を共にした第一線部隊の隊員たちの顔や姿を思い出すたび、筆者は仙石氏の『暴力装置』発言に心底から憤りを感じるのである。

最後に、自衛隊が『暴力装置』になりかけた唯一の史実を挙げる。六十年安保闘争が激烈化し、国会がデモ隊に囲まれたとき、岸信介首相は陸上自衛隊に治安出動を打診したが、当時の杉田一次陸上幕僚長は断固としてこれを拒否した。その結果、岸首相は陸上自衛隊による治安出動を諦め、陸上自衛隊は国民に対して銃を撃つ『暴力装置』になることを避けることができた。世界人類の歴史は我々に教えている。「道義なき」「いくさ」は必ず負け、道義なき軍隊は必ず崩壊し、道義なき国は必ず滅びるのだ」ということを。

「なんか変」が大きくなって、もつと日本は変わる

香川 めぐみ (栃木)

先日、友人とお茶した時「年金受給年齢が引き上がることに絡めて、在日が年金掛金を払っていないのに「年金を寄せ」と言っていることや、朝鮮学校無償化を話したら

「日本人より韓国、朝鮮人を優遇するなんておかしいと思っていた」

との答えが返ってきました。専業主婦も、なんか変、と感じているようです。

こういう「なんか変」が大きくなって、近々日本は変わるような気がします。

が、その前に、最近、韓国の(お金がないためか)慰安婦(私は売春婦と呼んでいます)の賠償金をよこせ、とか日本と韓国の経済は一体だ、とかの寝言に、応じてしまいそうな民主党が、不安でたまりません。



# 海上自衛隊大阪湾訓練に感銘！ 和歌山県御坊市 柳岡楠美



指令席でご満悦の柳岡氏

去る9月25日、自衛隊和歌山協力会から誘われて、護衛艦体験航海に挑戦しました。自衛艦に乗るのは初めてのことで、全てに興味津々思いつくに残る旅でした。この日は、台風15号一過とともに天気も回復して航海日和となりました。乗艦客は早朝から和歌山本港中埠頭第二岸壁に続々と集合し、護衛艦2隻に分乗し、千人余りが参加したそとで、訓練展示見学の人気が驚きました。私達が乗艦したミサイル護衛艦「はたかぜ」(4600トン)は、正午過ぎに出港、約9ノットで大阪湾(淡路島洲本市沖)関西国際空港(の)の海域を目指しました。訓練展示自体は和歌山港、大阪港、神戸港、淡路島洲本港から出港した艦艇11隻、潜水艦一隻、航空機(練習機、ヘリコプター、飛行艇)が合同演習に参加した。艦艇編

隊航行、航空機展示飛行、救難飛行艇離着水展示が勇壮に挙行しました。

特筆すべきは、「はたかぜ」による7発の空砲発射で、緊張感が高まり、いくたびか耳をふさぎました。この機会にイージス艦に次ぐ主力艦の内部を観察したい一心で限なく艦内を回りました。隊員食堂で応急食糧の乾パンを試食し、機関室では機関士の大江3等海尉さんと対話したり、スナック撮影を楽しみました。艦橋では操艦に専念する乗組員のチームプレーを見学しました。ここは艦長が指揮するコントロールタワーと言われる部署です。艦長の許しをいただいて、司令席に座り双眼鏡を借用、一日司令の気分を味わいました。このような護衛艦では、航海計器、エンジン系統、搭載兵器等は、全てコンピュータシステムで制御されているそうです。旧海軍と違って今日では、乗組員に高度の技術力が求められていることです。まさに制服を着た技術者集団と言ったところでしょう。

ところで、今回参加した艦艇、航空機も多くは、東日本大震災現地で物資輸送、救援活動等に従事しており、報道機関は被災地での自衛隊員の救助活動を称えています。私自身も艦内で見学者と真摯な態度で親切に和やかに接しているのを垣間見て、被災住民が救助活動に当たった多くの隊員と接することで、勇気づけられ心が和んだことは、事実だろうと得心しました。心温まることです。国民から慕われる自衛隊員であってほしいと思います。

ただ、我々の心すべきことは、海自約4万の隊員全ての本務はあくまでわが国の防衛であり、厳しい訓練によって、国民の安全と安心を確保されること。そして、災害などの不測の事態発生時において

ても外的脅威は決して容赦しないことを再認識したいと思います。5時間に及ぶ体験航海も迫力ある多彩な訓練展示によって退屈する一問もありませんでした。本艦は明日母港の横須賀に向け出港とのことでした。

今回の体験航海で海上自衛隊の任務の一端を知ることができました。自衛隊員の皆さん、ありがとうございます！タラップを降りる時に自衛艦旗に敬礼、「はたかぜ」の安全なる航海と隊員各位のご活躍ご多幸を祈念して離艦しました。

## 活動資金ご協力をお願い

【ご支援等の口座】  
郵便振替 006808245647 MASUKI情報デスク  
三菱東京UFJ銀行 王里中央店 024349 普通 増木重夫

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

○ カンパ金の主な使途は下記団体の活動の企画運営費です。

- ・ 活動の資料等の発送費・道路、公園

## 編集後記

秋本番。グルメの私にとっては秋といえば、秋刀魚。戻り鰹。ひたすら東北の復興を願うばかりだ。

さて、原発をどうするか。今後の日本のエネルギー政策である。原発推進。反原発。脱原発。いろいろな意見を言う。私はどちらかと言えば脱原発派。しかし現在の経済最優先。原発に変わるエネルギーを開発するにしても、しっかりと経済基盤があつてこそではないか。

○ M情報が活動の企画運営を行っている主な団体

- ・ 救う会大阪
- ・ 靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・ 米国に原爆投下謝罪を求める会
- ・ 大阪の公教育を考える会
- ・ スパイ防止法の制定を求める会
- ・ 外国人参政権に反対する会・関西
- ・ 日教組の違法行為を追及する市民の会
- ・ 竹島を奪還する会・関西
- ・ 改憲祈念の会

◇ 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

## 原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は、現在のごく3毎月月初めに全国約2000(目標5000)部発送しております。掲載ご希望の論文、情報等ございましたらご感想、表記事務所までお送りください。

また、弊紙は郵メールで郵送しています。重さ制限は50gです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご希望がございましたらご相談ください。